

平成25年度

第3回 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

| |
|---|
| 日 時：平成25年6月17日（月） 15:00～16:30 |
| 場 所：第3会議室 |
| 出席者： 委員長 富永祐民 委 員 豊嶋英明、岡村幹吉、村上健次、酒井一、鈴木隆雄、吉野隆之、 町屋晴美 |
| 欠席者： 委 員 水谷博之、八谷寛、鳥羽研二 |
| 出席委員数/全委員数： 8人/11人 |
| 審議事項 |
| 申請課題数： 継続・一部変更申請課題 1件 一部変更申請課題 2件 新規申請課題 5件 合 計 8件 |
| その他審議事項は特になし |

申請課題について

| | |
|------|--|
| No.1 | 受付番号：491-5 課 題 名：在宅医療支援病棟入院患者の特性と支援内容の現状と課題の検討 申 請 者：大島 浩子 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：承認 |
| No.2 | 受付番号：610-2 課 題 名：国立長寿医療研究センターバイオバンク事業 申 請 者：鳥羽 研二 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：承認 |

| | |
|------|---|
| No.3 | <p>受付番号：637-2</p> <p>課 題 名：認知症予防のためのコミュニティの創出と効果検証</p> <p>申 請 者：島田 裕之</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p> |
| No.4 | <p>受付番号：642</p> <p>課 題 名：慢性心不全患者のセルフケア評価尺度の開発</p> <p>申 請 者：大林 実菜</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：差し戻し</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究生を指導し、被験者に対して責任を負うことができる立場の役職員に、研究等担当者（申請者）を変更した上で再申請すること。 ・ 除外基準のうち認知症については、具体的な除外方法の記載がないので追記すること。 ・ 返送後の辞退方法の記載がないので、無記名返送のため返送後のデータ削除はできないなど、必要な説明を説明書に記載すること。 ・ 当センター以外の協力施設についての記載がないので、追記すること。 |
| No.5 | <p>受付番号：643</p> <p>課 題 名：二次予防事業における運動、栄養、口腔の複合プログラムの開発および効果検証（大府市二次予防事業調査）</p> <p>申 請 者：渡邊 裕</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「二次予防事業」の説明を追記すること。 ・ 様式1-1 6. 研究等の概要は具体的かつ簡潔に記載すること。 |

| | |
|------|---|
| No.6 | <p>受付番号：644</p> <p>課 題 名：老化に関する長期縦断疫学研究（NILS-LSA）「脳とこころの健康調査」</p> <p>申 請 者：下方 浩史</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p> |
| No.7 | <p>受付番号：645</p> <p>課 題 名：健康長寿の実現における最適な日常活動パターンの解明と脳の活性化に関する研究</p> <p>申 請 者：朴 眩泰</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様式1-1 6. 研究等の概要及び研究計画書に平成27年度研究計画の具体的記載がないので追記すること。 ・ GPSを用いる調査について、プライバシー保護への配慮を記載すること。 ・ 様式1-1にてモニタリング有としているが、どのようなモニタリングがなされるのかの記載がないため、研究計画書に追記すること。 ・ 様式 1-1 6. 研究等の概要は具体的かつ簡潔に記載すること。 |
| No.8 | <p>受付番号：646</p> <p>課 題 名：骨格筋量に及ぼす既存薬剤の影響に関する後ろ向き研究-二重エネルギーエックス線吸収法による既存データの解析-</p> <p>申 請 者：原田 敦</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p> |